

子どもたちの健康と人権を守る学びに関する提言

— 包括的性教育の継続と充実に向けて —

五常小学校 学校運営協議会
保健人権部会

01 はじめに

子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しており、インターネットやSNSの普及により、多様な性情報に触れる機会が増えています。このような時代において、子どもたちが自分や相手を大切にしながら安心して成長していくためには、身体の知識だけでなく、人間関係や自己肯定感、いのちの理解を含めた包括的性教育の視点が重要であると考えられます。

02 今年度の取り組み

今年度、保健人権部会では包括的性教育をテーマの一つとして、①養護教諭による性教育授業の見学 ②外部講師による講演会 ③養護教諭・専門職との対話 ④活動情報誌「おくりもの」の発行 ⑤全校保護者、地域住民によるアンケート集計 を通して、学校・家庭・地域がともに学び、考える機会を重ねてきました。

講演会では、学習指導要領における「はじめ規定」や包括的性教育について理解を深めるとともに、保護者や地域住民を交えた意見交換を行いました。

その後、全校保護者、地域住民、教職員を対象にアンケートを実施した結果、性教育についてすべての回答者が「必要である」と回答しており、段階的な取り組みを通して性教育の必要性についての認識が広く共有されていることが確認されました。

また、「はじめ規定を超えて性交について扱うこと」についても、学校で取り扱うことを望む声が多く見られました。

03 包括的性教育の重要性

今年度の取り組みとアンケート結果から、子どもたちの健康と人権を守る学びとして、包括的性教育を学校教育の中で継続的に実施していくことの重要性が改めて確認されました。

包括的性教育は、単に生殖の知識を学ぶものではなく、

- ・自分を大切にすること
- ・相手を尊重すること
- ・境界線の理解
- ・いのちの理解
- ・安全に成長するための判断力
- を育てる学びとして位置づけられるものです。

また、家庭だけでは伝えることが難しいと感じている保護者が多く、学校における学びへの期待が大きいことも明らかになりました。子どもからの疑問への向き合い方や、発達段階に応じた伝え方について不安を感じている保護者も多く、専門的な知識をもつ養護教諭や外部専門家による学びの機会を通して、すべての子どもが等しく正しい知識に触れられる環境を整えることの重要性がうかがえました。

04 来年度に向けて

子どもたちの発達段階に応じて、包括的性教育の視点をどのように教育活動の中に位置づけ、継続していくかは、今後も大切にしていきたい教育のテーマの一つであると考えられます。

養護教諭や外部専門家による学びの機会は、子どもたちの理解を支える重要な教育実践となっており、こうした取り組みが養護教諭を中心に学校全体の教職員で共有されながら、今後も継続していくことを期待しています。

また、講演会での意見交換や保護者アンケートを通して理解が共有されたことを踏まえ、性交や妊娠に至る過程についても、家庭の理解と協力のもと、学校教育の中で段階的に扱われていくことが望まれます。

05 提言

学校運営協議会保健人権部会として、包括的性教育の視点を大切にしながら、来年度の教育活動において次の点について検討を進められることを提案します。

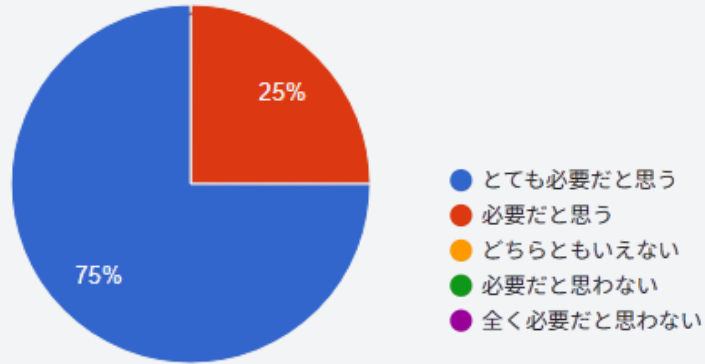
- ・発達段階に応じた包括的性教育の計画的な実施
- ・妊娠に至る過程の学校での教育の実施
- ・養護教諭および外部専門家と連携した学習機会の充実
- ・保護者への情報共有と学びの機会づくり
- ・学校・家庭・地域がともに包括的性教育について継続的に対話を重ねていくこと

06 おわりに

今年度、包括的性教育を子どもたちの健康と人権を守る学びとして、学校において様々な教育実践が積み重ねられてきたことに感謝申し上げます。

今後もこの学びが、学校・家庭・地域の協働のもとで着実に育まれていくことを期待しています。

01 おくりものVOL.5を読んで性教育は必要だと思いますか？

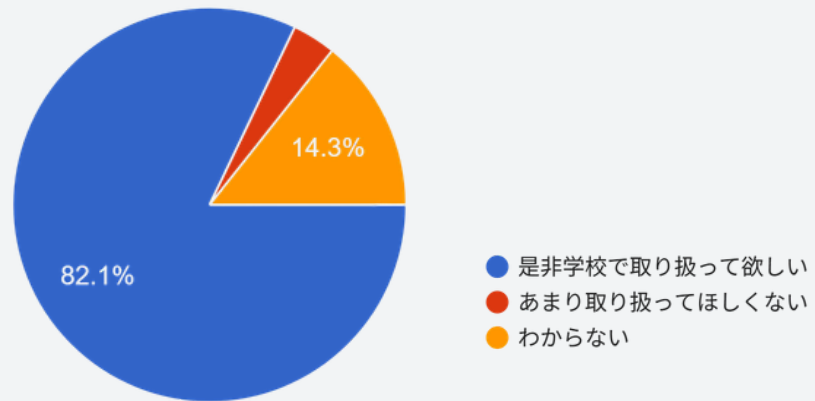


02 どうしてそう思われましたか？

- ・SNSなどで簡単に異性と繋がれる時代。性に無知で責任感のない若者たちがYouTubeなどでも命を軽視する発言をする時代。しっかりと知識と命を大切にすることを望みます。
- ・子供たちが成長していくのに、必要な知識だから。境界線の授業内容や山下先生の動画を見て、人が生きていく上で必要な知識だと思ったから。
- ・人間の身体と心の発達、成長の過程を理解するため
- ・人の根幹となるとても大切な知識だから。幼い頃から学校や家庭など、様々なところで、こういった知識を教えてもらう機会があると、自己肯定感が育ち、自分を大切にしたり相手を大切にすることができる人に育つと思います。
- ・性教育の大切さ
- ・家庭では限界があるため、こういった内容の授業を学校でもらえるのは本当にありがたい。今色々な問題が起こる中、学校全体で学ぶ意味は大きいと思う。また、学んだ内容をこうして教えてもらえることに驚いた。子どもにも話を聞きやすく、親自身の学びにもなった。
- ・本人の理解度だけでなく、大人も考えないといけない問題だから
- ・成長していく中で興味を持つ事が必ずあるので、きちんとした知識を持って欲しいと思う
- ・ネットの情報検索や動画を通して子ども達が意図せずにゆがんだ性情報に触れる機会が増えていることが心配なため。信頼できる大人達から正しい知識を学ぶことは、子どもを守ることに繋がると感じたから
- ・複数の場で性教育に触れる場面があってほしいから。家庭ではなかなか難しい。
- ・なんで？をなくすため
- ・知らないままのリスクが大きい
- ・きちんと知ることで、自分を守れることもある。知らないと間違った情報やSNSの情報を全て正しいと信じてしまう。人の体に勝手に触らない一人一人近づいて良い距離感が違うなど一人一人違うからこそ誰もが悪気があってやってるわけではないからその事で友だち付き合いで拗れてしまっはかわいそう。悪気はなくやったけど相手は嫌だった！という事でトラブルを避けるためにも大切なことだと思った！
- ・境界線の話などが子供にも必要だと思ったから。
- ・思いやりの気持ちをもった人になるように
- ・SNSからの豊富な情報が入ってくる時代に、正しい知識を得る良い機会だと思うから。

- ・西田先生の部分の内容を見て、こういった内容を授業でもらえるのはとてもありがたいと感じました。また、こうして発信していただけることで子ども達と一緒に見ることができたのでとても感謝しています。
- ・家庭での性教育はやり方もわからずはぐらかしたり、悩んだりするので、学校ですべての子供に行き渡る形で教育してもらえるのはとてもありがたいことだと思います。
- ・お友達関係のトラブルも、結局こういった境界線の話につながると思うので、各学年でこういったお話をさせていただきたいと思いました。
- ・子の幸せを願う保護者の関心時であり、困っていることも多く見受けられる。その教育の中心として期待されているのは学校であるから。
- ・家庭では中々話題にしにくいので
- ・保護者世代が受けてきた性教育と、今の子どもたちの現実との乖離が大きく、それを埋める学びが必要だから。学校任せにせず、外部専門家も活用し、すべての子どもが等しく受けられる教育であってほしい。
- ・幼いうちから命の尊さを学ぶことで、自分自身が大切な存在であること→自己肯定感に繋がっていくと思う。
- ・子供達が恥ずかしいと思う前から教えた方が良くと思う大切な事だから。
- ・子どもにも大人にも必要な内容だと思うから。
- ・今回は残念ながら会には出席できませんでしたが、以前出席させていただいた会には子どもも同伴させていただきました。その事により、子どもが性というものを知り、今まで考えていた性への理解がスッと入ったようです。その後は何を話すのも楽になり、お互い肯定的に性の話がで知ようになったので、包み隠したりするより、子どもに上手に教えてくださる先生または助産師さんから、正しく学ぶととても勉強になると思いました。
- ・間違った情報も入り乱れる社会の中で「正しい知識は子供を守り、必要なときに助けを求めるときの力になるという視点」から、大人も性教育を見直すことの重要性をとても感じました。子供たちが自分たちの一生を大事にするために正しい性教育は不可欠だと感じます。
- ・自分が大切な存在と思えたら人も大切にできるのではないかという点に感銘を受けました。
- ・成長過程で必要なため

01 はじめ規定を超えることについて（性交について取り扱う事について） どう思いますか？



02 どうしてそう思われましたか？

是非学校で取り扱ってほしい

- ・親から子どもに話すのは難しいかと思えます。親もしっかりと知識と一緒に学べるといいですね。
- ・学校でも、家庭でもはぐらかされると言う事は、「そういった話をしてはいけない」という無言の教育になると思う。
子ども達に相談してもらえ存在の大人（先生）を増やすためにも、家庭だけではなく、学校でもしっかりと取り扱って子どもたちと向き合っていて欲しい。
- ・スマートフォンやインターネットを通して意図せずとも、商業的な性情報に触れる機会も増えているため、学校の授業を通してこうした大切なことを教えていただけるのはありがたいことだから。
正しい知識が自分自身や相手を守り、助けとなる武器となるということを講演会から学び、子どものみならず大人自身も性教育に関する知識をアップデートできたらなと感じました。
- ・知っておいた方がよいから
- ・性教育は、誰もが必要な学びであると思う。子どもたちがSNSやインターネットで不意に性情報に触れる機会も増えており、正確な知識が必要な時代だと思う。
- ・SNSなどの情報では間違った内容もあるため、正確なことを教えてもらいたい
- ・子ども達が性教育について正しい知識を学ぶことで自分や相手を守り、よりよく生きていくことにつながると感じたため。
また学校で扱うことで、家庭内でも子どもに聞かれた時に向き合いやすい
- ・家庭では難しいから。
- ・知らないことがこわいから
- ・家庭と学校とで教育していくことが大切だと思う
- ・1番大切なところが抜けてしまっていると感じた。
どのようにしたら妊娠するのかそこを理解せずに進んでしまう。
わからないからこそきちんとした知識が必要になるのではないかなとおもう。
- ・まだ子供が低学年のうちには必要ないかもしれない、学年が上がるにつれて周りから色々と言われ男女の事について聞いてきて変に知識だけが増えても困るので、中学生になる前に小学生のうちに取り扱ってほしい。
- ・教育だから。

- ・とても大切なお話を保健の先生や専門家の方から聞く機会を設けていただけると言う事はとてもありがたいことだと思います。
- ・子どもたちの身近で最も正確な情報を提供できるのは学校しかないから。
- ・正しい情報を知らせてほしいから
- ・「知らない」ことが最大のリスクで、禁止や回避だけでは不十分で、子どもたちが安全に判断するためには学ぶ必要があると強く感じたから
- ・保健の先生や専門家から直接教えてもらうことが良いと思うから。
変な知識が入る前にちゃんと教えてもらうのが良いと思う。
- ・1番大切な疑問が残されたまま、他のことを教えても腑に落ちないと思う。上手に教えてください先生、または助産師さんなら反対に学んでいくべきだと思います。
- ・はじめ規定によって子供達に教えられていない内容は、子供たちのこれからの必要不可欠な知識。学校が教えてくれないなら、間違った情報から知識を得てしまうリスクが高い。
- ・親が嫌いな子も先生の言うことなら聞いてくれるかもしれないので。
- ・家庭とは別に第三者からの話としてお話いただくことで、複数のルートから話があると子どもの理解度が上がると思います。

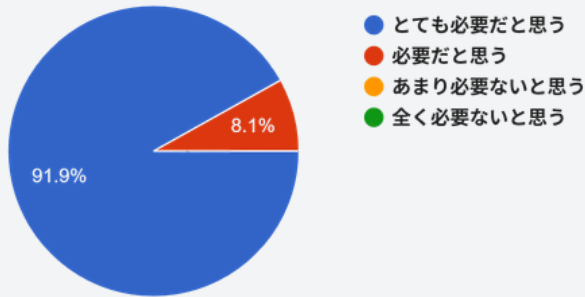
わからない

- ・デリケートな問題なのでまだ答えが出ません。
- ・興味を持ち始めてもそこまでまだ必要かわからない
- ・興味あるなしに関わらず、それ以上に関心を増やさないと
- ・子どもの心の発達に応じた教育が必要で、性教育によってショックを受けたり、性に関して負の感情を強く抱く心配もあるため。
専門知識の豊かな西田先生のような優しい先生が直接ご指導くださるなら安心ですが、どんな先生に習うのかわからないようではとても心配です。小さい頃に衝撃を受け、トラウマになることは避けなくてはならないと思います。

あまり取り扱ってほしくない

- ・年齢を考えてしてほしい

01 子どもたちにとって性教育は必要だと思いますか？



02 どうしてそう思われましたか？

- ・知らない、まちがった情報は人権感覚が育たない。自分を大切にできないし、人も大切にできない。
- ・性教育は、自分の心やからだを知り、大切にすることを知る第一歩だとおもうから。正しい知識を知り、自分を大切にすることでまわりの人も大切にすることができるからおもう。また、異性の心やからだについて知ることは相手の理解につながると感じたので、男女共に異性のことを学んでほしいとおもった。小学校で正しい知識を（はじめて規定をこえて）教えてほしいとおもう。子どもと一緒に親が学ぶキカイがあればうれしいです。
- ・ちゃんと知って、自分で選ぶということが大切なんだな、と。自分を大切に、相手を大切に、が、ここに繋がっていくことを改めて思いました。
- ・自分を守るのももちろんのこと、我が子がまわりの友達を大切にする、という意味でも、とても大切だと思いました。我が長男が小4の今、素直に話を受け止めてくれるこの時期に、正しい知識を学び、自分もまわりの人も大切にできる人間になってほしいという想いから、性教育の必要性を感じました。また、自分が生まれてきたことが、とても奇跡であること、そして、みんなに愛されて今があることを感じてもらいたいと思っています。
- ・性教育はとても必要だとすごく思いました。
- ・性教育は自分の体を知るといことで、自己肯定感や健康（well-being）にとても深く関わっていると知れたから。
- ・ひとりひとりの安心を尊重していく関わりが子供同士の関係を良くしていくと思う。また、みんなで学んでおくことで、より、自然な形でひとりひとりが大切にされていくのではないかなと思う。
- ・豊かに、共に生きていくために、お互いを知る、ちがいを認める、大切だと思えます。
- ・性にかかわることがタブー視され、人権としての性教育がバッシングされて以降課題は山積していますが、被害者も、加害者も、傍観者もつからない為に文科省は生命の安全教育をすすめています、はじめて規定はそのままなので、今日のように、がんばっていらっしゃるみなさんがおられること、すすめようとしている人たちがおられること、本当にうれしいです。
- ・生きる力になる教育だと思うからです。
- ・自分の心と体を尊重される経験をしながら大人になると、きっと未来が素敵な世の中になると思えます。一緒に大人と子どもが学ぶ事で、大人も、学び直しをしながら、"自分が大切"なことを思い出していけたらと思います。
- ・人生の中のひとつに性行為があると思う。（ない人もいますと思いますが）自分の体も異性（相手の）体も知っておく知識は持っていた方が良いと思います。
- ・成長してから性に関する問題に直面したり、多感な時期に教育が不十分故に傷つくことだったりを防ぐために必要だと考えました。幼少期から情報にふれあうための仕組みや周りの意識が肝要だと思います。
- ・自分と大切な人を守る力を持ってほしいから。
- ・あたりまえと思っていた事が差別につながっていた。考え方をみなおすきっかけになりました。
- ・今、14.15歳の妊娠出産が増えたと聞きました。その子達には、「なぜ妊娠したのか」が理解できていない子が多いと聞きました。そして相談できる人が居なかった事で出産したという事。産んだ子供は、育てる事ができない家庭も多く、離れさせてしまうという事を聞いた事があるので、もっと子供達に早い教育ができればと思っています。
- ・性教育＝人権教育だと思っているので、すべての方に必要と思っています。
- ・自分たちが将来必ず必要になる知識なので知ることによって他人の権利を侵害しなくなるから。
- ・今日お話しして下さったことが全てだと思います 日々お産の現場で働いていて妊婦さん産後のお母さん方はこんなこと知らなかったと話されます。いのちについて妊娠、出産についてもっと早くから知るきかいはあれば、産後うつや児童虐待などへらせると確信しています。ありがとうございました。
- ・正しい情報を伝えることが必要。
- ・自分は今、学生で先生や友人からの性についての話をよく聞くと、正しい情報を知っている人が少ないと感じることが多いから。保健の先生も、あまりピルや病院をおすすめする人は少ないから。
- ・今回のお話でもありましたが、子どもたちがネット上の情報のみから性に関する情報を得ることで、性虐待にもつながることを知りました。正しい知識を身につけ、周りを尊重できるようになるためにも、性教育は必要だと考えます。
- ・私もきちんと教育を受けていないという事がわかった。わからないから伝えられない。もっと早くに知れたらよかった。子どもたちも年齢の低いうちからふれていたらまたちがうのではないかなと思った。今日の話子どもたちにもきいてほしいと思った。
- ・性教育は、ただ単に性に関する知識を与えるのではなく、生き方を考えることにつながると思えます。自分をどうやって大切にするのか、他の人をどうやって大切にするのか。これからどう生きていくのか。子どもとともに親も、教師も、地域の方々も、みんなで学びながら生きていきたい。そんな気もちをさらに強くさせてもらうことができた、あったかい研修会でした。参加できて、本当によかったです。準備にたずさわってくださったみなさま、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。
- ・子ども達が正しい知識の下に幸せな人生を歩むため。そのために地域、学校、保護者も知識を合せて深めていく必要があると思いました。
- ・何も知らなかった真っ白な知識に正確な情報を教えてあげて欲しいです。家族や身近な大人が教える事が必ずしも正しい事ではないので（net情報は問題外）、学びとして教育を与えて欲しいと思う。
- ・いろいろな家庭がある中で、学校が計画的に性教育や人権教育をしていくことは、必要なことだと思います。
- ・私の子が4才ですが、私がいつも「かわいいおしりだねー！」と同意なしでさわったりしてましたが、これが将来、間違った愛情でチカン=私がかわいいからと性被害者になると思いました。本日はいっぱい学べてよかったです。ありがとうございました。
- ・自分と自分の周り未来を守るために、大切だと思うから。
- ・人生を豊かにするために必要不可欠のものだと思うから。
- ・自分のカラダに関することであるというのは勿論、その後の人生を自分の意思で選択し自身の安全な将来を守るために大切な知識であると感じるため。無知のまま臆測や噂で自分の身体を傷つけてしまうような事態を防ぐためにも必要であると感じた。
- ・自分自身が両親からは受けられなくて困ったことが多かったので、同じ思いをさせたくないから。
- ・ちょっと前に『いないいないばあ』で、世界が変わるという動画を見たことがあって、本当に変えられることを知ったが、今回のこうえんとちよつとにしていたと思ったからです。
- ・性教育を学ぶことがジェンダーなり性加害セクハラ含めたハラスメントの対策の一助となることを確認できたため